

迷うこともつまづくことも失敗することも宝物なんだよ

親育ち4363たじみプラン事務局

わが子の笑顔はいつも輝いていてほしい。失敗したり傷ついたりすることからは、できる限り遠ざけてやりたい。親となったその日から、こう願わない人はいないのではないかと思います。一途に子どもの幸いを願う親心はとても温かで自然な感情です。

一方で、心理学では、親の親切すぎる先回りや、困った状況への度々の手助けが、子どもが自分で考えたり、状況を立て直したりする機会を減らしてしまう可能性があると言われます。更に、その手助けが、子どもたちに「失敗やつまづきはよくないことなのだ」というメッセージとして伝わってしまうと、思い切って挑戦したり、逆にSOSを出したりすることに、自分でブレーキをかけてしまう可能性もあるでしょう。

芽吹きの季節。私たちも子どもたちの失敗を心配する心を、少しだけ緩めませんか。

「そうか、そうだったか。つらいことを話してくれてありがとう。一緒に考えよう。今はどうしようか。次はどうしてみようか。君は失敗というけれど、挑戦と言い換えてもいいと思うんだよ。今だから見える景色も、君の心深く刻まれた確かなものもきっとある。だからいいかい。迷うこともつまづくことも失敗することも、みんな君の宝物なんだよ。」

子どもたちが失敗を恐れず、思い切って飛躍する春を、共に支えて参りましょう。

(教育推進課 家庭教育担当)